

## 化学物質のRisk Communicationにおける Common Senseとは？

- 1) 多種多様である
- 2) 相乗・複合作用、アレルギー／過敏症など不確実な点が多い
- 3) 量的質的影響の予測困難、予防原則が重要
- 4) 専門家・行政に対する信頼度が低い。裏切りの体験・先例がある
- 5) 消費者、取引先、投資家、従業員・・・利害関係者が多い

**目的：質問に答え、世論の理解と協力を得る**